

第3章

ステップ・シャドーイング
のやり方(準備編)

シャドーイングをはじめていくにあたり、大切なのは、事前準備です。

いくら正しいメソッドがあったとしても、事前準備が不十分あるいは不適切だと挫折の原因になります。

シャドーイングにおける事前準備とは、紛れもなく、**音声の選び方**を指します。

この章ではステップ・シャドーイングをするにあたり、必要となる音声の選び方について説明していきます。

ぜひ最後までご覧ください。

シャドーイングには 専用教材を使うべき理由

シャドーイングをするにあたり、通例、音声は学習者自身が選び、それを使わなければなりません。

私たちの多くは、将来海外の映画やドラマを字幕なしで観られるようになりたいと考えます。

結論から言うと、シャドーイングをするには、必ず**専用教材**を使用するようにしましょう。

専用教材は、シャドーイングに特化して、英文や音声の難易度が調整されたものです。

専用教材には、次のような特徴があります。

1. **統制された語彙や文法を使っているの
で、英文の難易度でつまづくことがない**
2. **丁寧、かつ適切な速度で発話するの
で、聞きやすい**
3. **会話内容や場面設定が多彩なので、豊
富な経験が得られる**

専用教材を使うことで、前の章で説明した「いきなりシャドーイング」の状態を防げます。

結果、挫折せず、長く続けられるようになります。

組み合わせると 効果を発揮する3つの形式

良い専用教材の特徴は、「**発話の形式**」が過不足なく整っていることに挙げられます。

発話の形式とは、英文および音声が、どのような条件のもと発せられているかという基準で、独り言形式、対話形式、ナレーション形式の3つがあります。

・ **独り言形式**: 「釣りが趣味です」のように、単文を発話するものです。初学者が最初にシャドーイングをするのに適しています。

・ **対話形式**: 2人、あるいは3人の人物による対話です。私たちが想定する「英会話」のイメージに近いでしょう。

・ **ナレーション形式**: スピーチや講演など、1人の人物による長い発話を聞く状況です。私たちの日常生活でも、テレビを見るとか、お店で商品説明を受けるなど、長い発話を聞く場面は、案外、多くあります。

これら3つの発話形式では、「独り言形式」→「対話形式」→「ナレーション形式」の順番で学習すると効果的です。

これらの順序に従って行えば、扱える英文の範囲が広がるので、成長を実感できるでしょう。

ただ、市販のシャドーイング教材には優れたものがありますが、必ずしも、これら3つの発話形式を網羅しているとは限りません。

たとえば、初學者向けの教材の場合、
独り言形式だけしか収録されておらず、
他の形式で練習できないことがあります。

また、実践向けを謳った教材の一部
は、はじめから対話形式あるいはナレー
ション形式で学ぶため、初學者には難し
い場合があります。

教材を選ぶ場合、英文の難易度だけで
はなくどのような発話形式になっている
のか、よく調べてから検討するようにし
ましょう。

目的に合わせた 英語力を身につける

発話形式と並んで重要な要素に**目的**があります。

英語学習の代表的な目的として、以下のようなものがあるでしょう。

- ・ トラベル英会話
- ・ 日常英会話
- ・ おもてなし英語
- ・ 海外留学
- ・ ビジネス英語

例えば、**トラベル英会話**であれば、私たちが海外旅行に行った際、旅先の人と英語でコミュニケーションするといったものになります。

日常英会話は、日本国内で外国人の友人とやり取りする、あるいは海外に住んで、現地の人たちと話すなど様々です。

また、最近学習者の方々からお声を聞くのが、**おもてなし英語**です。

日本に来た海外観光客の方々に道案内したり、日本の文化を紹介するなど、おもてなしを目的に英語ができるようになりたいという方が増えています。

その他、海外留学ではアカデミックな英語が必要です。

キャリアアップが目的なら、ビジネス英語を学ぶと役立ちます。

このように、一言で英語と言っても目的によって習得する知識は様々です。

シャドーイングをする際は、どのような目的で英語を学ぶかを明確にした上で最適な題材を選ぶようにしましょう。

市販教材の メリット・デメリット

シャドーイングができる教材には、主として次のようなものがあります。

- 書籍教材
- アプリ
- オンライン教材

それぞれのメリットとデメリットを簡単に説明します。

書籍教材とは、書店などで発売されている紙の本によるシャドーイング教材です。

入手しやすいほか、安価で手に入るというメリットがあります。

デメリットとしては、書籍ゆえページ数に限りがあるので学習内容がどうしても偏ってしまう点です。

例えば、**対話形式を期待して買ったのに独り言形式しか載っておらず、がっかり...**ということがあります。

また、書籍で購入する以上、先生への質問はできません。

サポートもありません。

「買ったはいいけど、結局やらずに、本棚に置いたまま...」ということも少なくないでしょう。

アプリとは、スマートフォンで使えるシャドーイング専用アプリケーションです。

メリットとして、場所を選ばずどこでも使えるほか、音声を録音する機能もあるのでより効果的に学べます。

デメリットは、**無料アプリの場合、英文や音声の品質が良くない**ことがあります。

また、**たいていの無料アプリは広告が入っているため、学習中に気を取られて**しまいます。

有料のシャドーイングアプリは、**サブスクリプション型**のものが増えています。

これは「定期購入」のことで、こちらからサービスを解約しない限り、毎月の課金が続きます。

月額利用料は数百円から数千円程度のものが多いのですが、**うっかり解約を忘れると結構な額を支払うことになります。**

「初月無料」などの甘い誘いには、要注意です。

オンライン教材とは、英文や音声が専用サイトに用意されており、そこでシャドーイングを練習するものです。

書籍のようにページ数に縛られないため、設問数やジャンルが豊富です。

スマートフォン、タブレット、パソコンなど、複数端末からアクセスできるので使い勝手も良いでしょう。

オンライン教材は、書籍やアプリにはないような、斬新なアイディアで企画されるものも少なくありません。

例えば、私の運営する「**ステップ・シャドーイング講座**」では、**シャドーイング**を「**音への意識**」、「**意味への意識**」、そして「**音と意味の融合**」という3つのステップを踏んで段階的に学習していきます。

オンライン教材は、サポートも手厚く行われます。

サイトの使い方がわからない、学習のコツを教えてください、先生からのアドバイスがほしいといった時、メール等でサポートをしてくれます。

メリットの大きさが魅力のオンライン教材ですが、デメリットもないわけではありません。

カリキュラムとサポートが手厚く行われる分、費用は他に比べて高くなりがちです。

また、書籍のように立ち読みをしたり、アプリのように無料のお試し期間があるわけではありません。

購入しないとどのような内容なのかわからない、といったこともあります。

ただ、最近のオンライン教材はサンプルを公開していることも多いので、事前に実際に試し、気に入ったものを購入できます。

納得した上で購入すれば、後悔することもなくなるでしょう。

以上のように、市販教材にはメリットとデメリットがあります。

ご自身にとって、何が重要なのか考え比較検討した上で選択しましょう。

この章のまとめ

この章の内容を簡単にまとめます。

1. シャドーイングは専用教材を使って行うと良いでしょう。
2. 独り言形式→対話形式→ナレーション形式の順で行いましょう。
3. 目的にあったシャドーイング教材を使いましょう。
4. 市販の教材のメリット・デメリットを知った上で使用しましょう。

次の章では、いよいよ、シャドーイングの実践方法をお話します。